

Cots多文化教室2024

多文化政策の研究手法

Cots代表理事 西村 明夫

1

■ 研究の方法

1. 研究方法のアウトライン

- ① 問題の気づき→問いの設定:個々具体の出来事に注目
→広げ過ぎない [例]日系ブラジル人の低い医療利用度
- ② 先人の業績(先行研究)の探索→自分の研究の独自性を確認
- ③ 原因の仮置き(仮説の設定)
- ④ 原因対象の調査
- ⑤ 調査結果の分析
- ⑥ 仮説との照合(仮説の証明)→答えの提示

Copyright Cots 4

■ この講義のイメージ

1. 大学院・修士課程に入りたい人を想定
2. 学者以外の者から見た研究のイメージ

★ 個人的な感想レベルでの講義

Copyright Cots

2

⑦ 「説明」と「記述」

・記述レポートは研究か

⑧ 「比較」が分かりやすい研究方法

[例]

- ・国や地域の比較:米国の移民状況とフランスの移民状況
- ・時期の比較:日系南米人のリーマンショックの前と後
- ・在留資格の比較:技術・人文知識・国際業務と特定技能
-

Copyright Cots

5

■ 政策研究のイメージ

1. 科学のイメージ

- ① 新しいことの発見
- ② 発見したことの再現性が必要
→ 実際にはゼロからの発見はきわめて困難
⇒ 先人の業績の上に立って、一つ先の発見をめざす形

2. 研究のイメージ

- ① 「発見」のための探索
- ② 「説明」行為の有効性:「原因」と「結果」の関係など

Copyright Cots

3

2. 先行研究の探索

- ① 大学院の関心のある講義のシラバスをネットで探索
- ② そこで使用される教科書や参考文献を読む
- ③ ②の文献の引用・参考文献のうち関係する文献を読む
- ④ ③の文献の引用・参考文献のうち関係する文献を読む
→ 芋づる方式の探索
- ⑤ 先行研究の整理:文献の3行要約付きリストの作成
- ★ 本代を惜しまないこと
⇒ 引用文献は何がしか為になる
⇒ 先行研究は「世」にさらされているため、内容の確かさが一応担保

Copyright Cots

6

3. 問いの設定

- ① Why? : 「なぜ、〇×なのだろう」
 - ② How? : 「どうしたらよいのだろう」
- ⇒ 問題対象の年表作成が頭の整理に効果的

4. 仮説の設定

- ① 独立変数と従属変数の関係を念頭に
- ② 調査結果から仮説修正を想定(いったりきたりが発生)
- ③ 問いの内容によっては仮説を設定できない場合あり(答えが思いつかない場合など)

Copyright Cote 7

6. 概念の構築

- ・目の前のよく分からないことを一言で言い表すもの
- ・物事の明確化: サーチライトの役目

[例]

- ・チチュウカイミバエ: 「針のない蜂」
- ・大義名分など美化できる要素がない抗争: 「仁義なき戦い」
- ・会社と社宅の往復だけの外国人労働者: 「顔の見えない定住化」
- ・異常事態も継続すると慣れてくること: 「非日常の日常化」
- ・国際=海外交流だった時代の在住外国人の問題: 「内なる国際化」

Copyright Cote 10

5. 調査の方法

① 調査の種類

- ・既存の文献の調査: 統計データ、言説(国会答弁など)、公文書など
- ・質問紙調査(量的調査): 100件以上の回収、設計が重要、サンプリングの良しあしが客観性を担保
- ・インタビュー調査(質的調査): 半構造化調査が簡便、音声記録が不可欠、調査者と調査対象者との関係も意識

Copyright Cote 8

■ 政策研究の用語

- ・アスピレーション/願望、あこがれ
- ・アパシー/無関心、無感動
- ・アプリアリ/先天的、先験的
- ・アルゴリズム/問題解決の手順
- ・アンニューイ/物憂げ、繊細
- ・アンビバレント/相反する感情、態度
- ・暗黙知/経験的直観的な知識、勘、言葉で伝わらないもの
- ・インクリメンタリズム/増し分主義(予算など)
- ・インクルーシブ/異なるものを排除せず包摂すること

Copyright Cote 11

② 調査の分析方法

- ・質問紙調査: レコードの入力、各設問の割合算出、属性や設問同士のクロス集計、検定、傾向の読み取り
- [例] 医師は遠隔通訳を敬遠/そのうち利用経験ありの医師は敬遠傾向なし→食わず嫌いの傾向か
- ・インタビュー調査: 音声記録の文書化、記述の切片化、見出し付け、小見出し付け、調査対象者全員の切片のソート、傾向の読み取り

Copyright Cote 9

- ・インプリケーション/言葉の含み、含意
- ・エートス/社会集団などが有する慣習、基底的な精神
- ・エンクレーブ/小領域
- ・クレオール/言語・文化などの混交現象
- ・啓蒙主義/世界は理性によって認知できるという考え方
- ・コスモポリタン/世界市民主義の人
- ・コロラリー/論理的な帰結、必然的な結果
- ・コンピーデンシー/高い能力特性
- ・シニシズム/懐疑的、冷笑主義
- ・社会統合/社会に適合していく過程

Copyright Cote 12

- ・スキーマ／完成度の高い図、計画など
- ・スキーム／大まかな図、構想、計画など
- ・スティグマ／不名誉な印、屈辱を強いるもの
- ・スプリングボード／行動を起こすときのきっかけ
- ・世俗主義／政治などが宗教から独立すべきという考え
- ・ゼノフォビア／外国人嫌い
- ・ターム／専門用語、学術用語
- ・地平／判断や思考の及ぶ範囲
- ・ディアスポラ／民族集団の国境を越えた離散、移住
- ・パースペクティブ／見通し
- ・パターンリズム／父親主義、父親的干渉

Copyright Cots 13

- ・パラダイム／ある時代に支配的な考え方や認識の枠組み
- ・ポピュリズム／カリスマ指導者による大衆を導く政治姿勢
- ・本質主義／人種、民族などに不変的な性質があるという考え方
- ・メタファー／隠喩、暗喩
- ・ラポール／信頼関係の構築
- ・ルサンチマン／強者に対する弱者の憤り、怨恨、憎悪
- ・レファンダム／直接投票制度(重要な事項の決定など)

Copyright Cots 14

【文献】

- ・齋藤(2008)『公共性』岩波書店
- ・佐藤(2007)『フィールドワーク増訂版』新曜社
- ・盛山(2007)『社会調査法入門』有斐閣
- ・玉野(2008)『実践社会調査入門』世界思想社
- ・高根(1979)『創造の方法学』講談社現代新書
- ・水野(2000)『事例分析への挑戦』東信堂
- ・向後ほか(2007)『統計学がわかる本』技術評論社

Copyright Cots 15